



加藤秀人議員

まちづくりに対する考え方は

町長 町民と行政が信頼関係を構築し町政にいかすこと

■行政の役割と町民との関わり

加藤 町民目線での行政運営上最も重要なことは。

町長 町民と行政が対話を通して意識を高め合い、情報を共有しながら、信頼関係を構築し、効果的な施策を展開すること。

特に、町民が参画しているという意識を醸成し町政運営にいかすことです。

■東京サテライトオフィス・ふるさと交流大使との関わりは

加藤 東京サテライトオフィスの活動を高く評価している。担当が変わるが活動内容は変わるのか。またふるさと交流大使は各界でご活躍の方、充実させるためにパイプ役の仕組みづくりをすべきではないか。

町長 東京サテライトオフィス設置事業は引き続き継続していきたい。ふるさと交流大使は、観光・交流に特化した内容に絞り活動をお願いしています。

首都圏における商工業振興や観光情報の収集と発信窓口として、今後も連携した活躍をお願いしています。

■福祉医療など町民の安全安心は

加藤 白鷹は町内の医療機関と行政の福祉分野の連携が充実しており、恵まれていると聞かすが、更なる充実強化策は。

町長 各種健診事業や介護予防事業の充実、生きがいづくり、相談体制の充実などに取り組んでいきます。町が保有する老人福祉カールの電子化に取り組んでお

り、地域や民生・児童委員、消防機関などと、情報の共有化をすすめていきます。

■施設の活用と特に老朽化している施設の対応は

加藤 紬パークの冬季間の

利用は調整に苦慮するほどの盛況である。白鷹にない施設は他市町の施設を活用させていただき、白鷹にあつて他にない施設は活用いただくよう、相互利用はできませんか。

町長 既存の施設の活用や新設される施設の機能、利用については、広域的な視点に立ち、それぞれの機能補完などの連携を視野に入れた対応が必要だと認識しています。

■民間意識と経営感覚を取り入れる方策は

加藤 コスト意識、意識改革、行政マンは体験できないノウハウについて、企業を退かれた方にレクチャーしていただくような機会を設けてはどうですか。

町長 民間の長所は積極的に導入し、研修の充実による職員の意識改革などに務め、民間ビジネスのスピードと町民ニーズに対応できる行政運営と効率的な組織体制を整備していきたい。



遊具の点検をする民生・児童委員